

地域の課題をとらえて

一般質問



驚見悟

・幌延町の福祉と医療の
利便性向上に向けて
・防災の見直しについて

幌延町の福祉と医療の利便性向上に向けて

質問 地域交通体系について、病院や買い物、公共交通機関などへの要望が市街地区においても出てきているが、どう考えるか。

町長 診療所の通院は患者輸送バスとスクールバスの混乗を進めている。また、こざくら荘で実施している福祉有償運送事業もあり、今後とも検討していきたい。

質問 天塩町や中頓別町では、インターネットのサービス会社を利用しての乗り合いサービスを進めているが、幌延町ではどう考えているか。

町長 新聞報道程度しか理解していない。実施には十分な検討が必要という認識。

質問 宗谷北線の廃止もささやかれる状況の中で、線路を維持するための働きか

けをどう考えるのか。

町長 宗谷本線活性化推進協議会に加入した自治体が増えており、必要性を再認識した。上下分離方式の受け入れについては、色々なパターンがあり、現時点ではJR北海道からの提示や協議会としての議論がされていない。宗谷北線の今後20年間の維持経費が、車両更新を含み58億円とJR北海道から公表されている。

防災・津波・ハザードマップの見直しについて

質問 今年2月9日、北海道防災会議地震専門委員会より、冬期早朝に震度7の地震が起きた場合、宗谷管内で3百37人、オホーツク

で4百21人以上の死傷者が出るとの日本海岸の津波浸水予想図が発表になり、北海道新聞に詳しく報道され

た。町の防災計画の変更はどうか。

町長 2月15日幌延町防災会議において原案を決定し、3月1日より20日間のパブリックコメントを実施しており、終了後、改訂が確定する。

町民のくらしと生活について

質問 国民健康保険が北海道に一本化されるが、試算では、毎年5%程度上がるとされている。4人家族での負担の場合はどうなるか。

町長 北海道から通知があった試算では、税率が示されておらず質問の算定はできないが、1人当たりの保険料は16万9千7百8円となっている。本年8月頃に次の仮算定結果が北海道から出る予定。

質問 全道では78・5%が3方式であり、資産割は外している。この方式にすべ

きだと思うがどうか。

町長 一本化のタイミングで私も3方式に変更した方がいいと考えている。

第2回
まちづくり常任委員会
2月28日

○調査事項
▽幌延町公共施設等総合管理計画（案）について

過去に建設された公共施設等が、今後大量に更新時期を迎える一方で、地方財政は以前として厳しい状況である。また、人口減少などにより、今後の公共施設等の利用需要が変化していくなどの状況にあるため、各地方公共団体が公共施設の全体の状況を把握し、長期的な視点に立って、総合的かつ計画的な管理を行うため、公共施設等総合管理計画の策定が必要である。

国は、計画の策定を推進するため、総合管理計画を策定しない地方公共団体に対してはペナルティを課すとしている。

このような状況から、本町としても、国の補助金や過疎・辺地債など有利財源を確保するため、公共施設等総合管理計画を策定することとした。
問 町営草地や国営草地も含まれているのか。